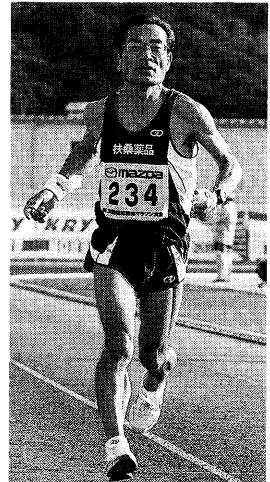


ラストスパートを
かける川田さん



府勢最高齢57歳
2時間53分完走

防府読売マラソン

山口県防府市で、9日開かれた「第38回防府読売マラソン大会」には、フルマラソンと10キロ（一般、高校、壮年、女子）の部に、国内外の招待選手を含む計53人が出場。沿道の声援を

流が続ける原動力という。
「この完走で還暦までフルマラソンを走り続けられるかな」と笑顔を見せた。

受けながら、懸命の走りを見せた。

フルマラソンの府勢では、エントリーした35人中、最高齢の堺市美原区太井、会社員川田孝夫さん（57）が2時間53分41秒で完走。174位に入った。体力の衰えを感じ、今回は完走を目指に臨んだが、「気候が良く95点の走りが出来た。まだ走れる手応えをつかんだ」と声を弾ませた。

小学校の時、学校代表の駅伝チームのメンバーに選ばれて走り始めた。当時は義務感が常にあったが、中学生、高校と陸上を続けるうちに、走る爽快さに魅力を感じた。

フルマラソン出場は20回を超えるが、30歳代に2時間30分台前半だったタイムは、50歳を過ぎてスピードががくつと落ち、2時間50分前後になってしまった。故障しないよう練習メニューにも気を使っている。きついと思うが、ランナー仲間との交

2007年12月11日(火)
読売新聞 大阪地域 34ページ掲載